

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月20日		記入者		連絡先 2524
部 名	市民部	課 名	消費生活課		課長名 小林良司
事務事業名	消費生活展事業				
予算上の事務事業名	消費生活展経費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23230	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第3施策 安心できる消費生活の実現				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消費者基本法・消費者契約法				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何の目的に行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
社会が大きく変化する中で、消費者が確かな知識や判断力を身につけ、さまざまな情報を正しく理解し、「自立した消費者」となるための情報提供の場として開催することで、安全・安心な消費生活の実現を図る。			一般市民		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> 開催期間 平成18年2月4日(土)～2月5日(日) 2日間 午前10時～午後4時 開催場所 ミウヰ橋本 5階 インナーガーデン テーマ 暮らしのヒント 展示内容 市及び参加協力団体7団体によるパネル展示や啓発資料の配布 来場者 2月4日(土) 500人 2月5日(日) 600人 合計 1,100人 					
6 関連・類似事業や他市の状況	平成17年度県内開催市 川崎市・横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市・逗子市・厚木市・大和市・座間市など				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	535	481	443	443	443
一般財源	535	481	443	443	443
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,051	1,058	1,117	1,117	1,117
事業コスト合計	1,586	1,539	1,560	1,560	1,560
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	消費生活展事業			対象名称と単位	来場者数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	1,586	1,539	1,560	1,560	1,560
対象数	513	420	1,100	1,200	1,250
単位あたり経費(円)	3,092	3,664	1,418	1,300	1,248
前年度比		1.19	0.39	0.92	0.96

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	開催参加団体数	指標式と指標の説明	当該年度参加団体数/12年度参加団体数×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	8.0	8.0	8.0		
目標	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
目標達成度(%)	88.9	88.9	88.9		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	来場者数	指標式と指標の説明	来場者数/12年度来場者数(開催日数が2日となった年度)×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	39.5	32.3	84.6		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	39.5	32.3	84.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		参加団体数や来場者数は場所の問題が大きく、良い会場さえ確保できればほぼ解決できると思われる。しかし、情報提供の手段、あるいは市民との協働の面から、この事業の位置付けをこれからの消費生活事業全体の中で考える必要があると思われる。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
平成17年度は、開催場所を変更して実施したことにより、来場者数の増加を得られた。今後は、開催場所を含め、開催日や展示方法の見直しが必要。			<ul style="list-style-type: none"> 開催場所での、効率的な情報提供ができていないか。 参加団体のあり方の検討。 		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課の課長による評価(今後の方向性)のとおり、見直しとする。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			